

第 59 回例会 (H29.2.23) 感想

「障がいのあるこどもが住み慣れた“処”で暮らすために」

～かかりつけ医・病院・多職種との連携に向けて～

出席者 120名 うちケア研名簿57名 再参加39名・初参加18名

アンケート回答 89枚 (回答率74%) ありがとうございました。

紅谷先生の発想と行動力にとっても感心しました。小児在宅支援センターもぜひ事業展開してほしいです。(保健師)

Be happy な子供達をみて在宅主治医を受けることに前向きになれる気持ちにさせてもらいました。(医師)

どんな人も楽しめる地域作りに興味がありイベントでも活動しています。(介護員)

先生のお人柄、そしてお考えに感銘を受けました。(歯科衛生士)

今、訪問介護しています。子供は本当にかわいいです。15才の男の子の入浴介助等しています。明日、かっこいい姿が見たいのでサングラスかけてもらってみますね。(介護福祉士)

訪問看護に携わっています。とても嬉しく、楽しく、お話をお聴きしました。米子でもキッズケアラボのような場所が出来ると良いなと感じた講演でした。有難うございました。(看護師)

今、まさに取り組もうとしている事業に関して、大変参考になりました。(その他)

感動しました。本当の意味での地域包括ケアを見たような気がします。すごい人がいますね。(理学療法士)

元気を頂き、これからの活動に勇気が出ました。ありがとうございました。(患者・家族)

在宅医療の視点を事例をもとに知ることができ、感動しました。可能性を見出していく、仲間・つながりが広がっていくよう、小さな力になりたいと思いました。(看護師)

看護の実習の中で小児看護に興味をもち、この講

演会に参加しました。看護師として、目指していく方向が見えたように思いました。ありがとうございました。いつかオレンジキッズケアラボの見学に行ってみたいです。(学生)

紅谷先生の行動力、考えがすごいと思いました。自分もこれから少しでも行動できるよう、勇気となりました。(作業療法士)

ケアラボのような所が鳥取にもあればいいなと思いました。(介護福祉士)

私は鳥取大学医学科の学生です。話を聞く前は障がいのある子は社会に進出するのが難しい。福島出身であるだけで学校でいじめや差別の対象になる。そんな世の中で障がいのある子の未来を考えることなんて・・・と消極的な考えを持っていました。しかし、このお話を聞くと、自身の考えの未熟さを反省した。医療はマイナスをゼロにするものだが、暮らしに介入しプラスにするとなると医療のあり方がものすごく違うことが分かった。そして、患者の立場つまり障がいのあるこどもは与えられる側ばかりではないし、ものすごく大きなものを与えてくれる者でもある。可能性の幅を医療者がせばめてしまうのではなく、くらしに介入するのであれば、幅をひろげ、互いに成長し歩み続けるべきなのだという強い理念も感じた。授業よりおもしろかったです。(学生)

小児在宅支援センターの話の詳細をお聞きすることができ、とても分かりやすかったです。また紅谷先生のオレンジキッズケアラボのお話は将来小児科医になりたいと考えている私にとって大変勉強になりました。(学生)

地域で暮らすということについては、精神科が先進的だと思います。精神科でも患者さんと一緒に鉄格子を破ってきた病院と、国の方針に従って解放化が進んだ病院では、雰囲気は違います。あるべき姿で地域包括ケアが広まれば良いなと思います。(学生)

①小児の障がい児は高齢者と異なり多くの学びを得た思いがする。②生活という視点の重要性を思い知らされた。③地域のつながりがとても具体的に勉強になった。(医師)

紅谷先生の生活を考えるという視点に共感しますし、それをこうした形で実践されていることに感動しました。福井にも軽井沢にも行ってみたいです。(介護支援専門員)

玉崎先生、紅谷先生のお話は業務に直結するものでした。地域のテンションを上げるために、お2人のお話の内容を道具として使わせてもらいたいと思います。自分のテンションはガンガン上がりました。地域の仕組みづくりについては正解がないと思います。たくさんのヒントをもらいました。ありがとうございました。(相談支援専門員)

最後の質問では聞けなかったこと。障害小児の看取り、尊厳死、喋れないその児の意志は？(医師)

ないものは作る—私達も若年認知症の居場所づくりをしてきて、とても今日のお話は実感できずばらしかった。(認知症地域支援推進員)

お話がすごく楽しかったです。オレンジキッズケアラボに出会えたご家族・子どもたちは本当に幸せそうに感じました。出来ることがたくさん！(理学療法士)

紅谷先生のお話を聞くことにより、気持ちが前向きになり、自分の出来ることを頑張っていこうと思えた。(患者・家族)

生活を見る視点。本当に大切なことと思います。1人1人の人を見るのが大切だと思いました。(介護支援専門員)

ケアされるされないではなくお互いケアされるといった観点到正直びっくりしました。熱い思いがないとなかなか出来ないと思いますが、これからの物の見方の参考にさせていただければと考えます。地域に根付いた活動のご苦労をもう少し聞かせていただければと思いました。ありがとうございました。(医療品卸)

子供達の可能性を信じて、子供達に教えてもらう考え方が私たちの社会の中でも忘れてはいけな

いことと思います。決してあきらめない心を持つことが大事と改めて思いました。(その他)

在宅小児の事を初めて知りました。老人も大切ですが、小児にも目を向けたいと思います。(会社員)

子供の成長に追いつくよう、スタッフもスキルアップしていきたい！！(放課後等デイサービス管理者)

ハンディキャップのあるこどものケアを積極的にされているのに感動しました。(医師)

とても良いお話を聞くことが出来て良かったです。(その他)

大変に勉強になりました。今後もこのような講演がありましたら参加させていただきます。(機器メーカー)

自分の立場でできることを考えたいです。ありがとうございました。(保健師)

興味深い講演をありがとうございました。(医師)

地域をつなげる思いが連携され、つながっていく素晴らしさを感じ取ることができました。子供たちの笑顔、しぐさの与えるパワーを感じました。“かわいい”って大事！！今後、地域を見据えた医療補助(道具)になればいいなと思いを強めることができた。(看護師)

「この子たちのおかげ」だな～、「32km先の子供がかわいかった」印象的な大きなひと言でした。(医師)

明日より同じようにということはできないが、考え方、捉え方、発想の転換はできそうで、そこには明日より生かせそう。もっと生活のこと、先のことを意識したい。不安より希望のある話が聞けて良かった。(医師)

子ども在宅は今後必要と思います。子供の笑顔は誰がみても可愛い。そのシンプルさが絶えない様にとと思います。(教員)

とても元気になりました。(親)

私も現在、NPO 法人で重症心身の児者の方が集まれる所をめざしています。本人の表情や生活の必要性を思いつつ、目先の人間関係や制度の壁に悩んでいた自分に又気づき、誰かの為、本人の為、しいては私達み～んなの為のすごい素敵な事を心がけている事に改めて元気が出ました。ありがとうございました。(保育士)

とても何か自分たちにもできるのではないかな？しないといけないことがあるのではないかなという想いが出てきました。今、取り組まれていること、よく伝わりました。ありがとうございました。明日からもがんばれます。(理学療法士)

紅谷先生のお話はとても感動しました。私も頑張ろう！と思いました。ありがとうございました。(学生)

重症児の訪問リハビリを実施しております。ついつい、医学管理ばかり目を向けていました。個人の生活をサポートする事の大切さを学びました。(理学療法士)

重症ケア児が笑顔になれる生活を実現しているところに感嘆した。(保健師)

子どもさん達の笑顔がとても素敵で印象的でした。素晴らしい活動ですね。レスパイトについて子ども主体で行われていて目からうろこの思いで映像を見させてもらいました。ありがとうございました。(教員)

在宅ケアの楽しさを知ることができた。(医師)

紅谷先生のお話、医療ケアが必要な子、支援が必要な子に限らず、どんな子でも、子どもたちが育つために地域づくりの考え方として大変参考になった。本人目線で支援を考える。家族や地域への好循環。ヒントをたくさんいただきました。(その他)

まったくの同感です。鳥取でもぜひケアラボを立ち上げてみたいですね。結局は具体的なケースにどう対応していくかですよね。やった者勝ちみたいな・・・。(看護師)

言葉では表現しにくいですが、感動しました。自分たちの役割が何なのか、再認識する機会になり

ました。先生の想い、行動力を一緒に体験してみたいと思いました。本当にありがとうございました。

重症児のケアという難しそうな話かと思いきや、すごく前向きな講演に大変元気をもらえる講演でした。敷居が低くなるような講演で自分でもできることは協力させて頂きたいと思いました。素晴らしい取り組みで鳥取にもこのような場所があればと思いました。どうしてもネガティブな意見を聞くことが多いので、ポジティブなお話が聞けたので良かったです。ありがとうございました。(薬剤師)

元気になれた。(看護師)